

2025年02月 現在

Fujitsu Software

FNA Server V9.6.0

FNA Server V9は、別売の通信制御サービスがサポートする通信回線で接続される富士通製ホストコンピュータと、その端末（WSMGRなどのF6680端末）の間に位置し、これらの通信の中継制御を行います。本商品は、富士通製ホストコンピュータのみに対応しています。

- ・ サーバ

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ サーバ

Windows Server 2025(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) /
Windows Server 2016(64-bit)

1. 端末との接続

(1) 次の端末をサポートしています。

- ・ F6680系端末(WSMGR、WSMGR for Web、富士通製F6680エミュレータ)

(2) 端末との接続手順として、次の手順をサポートしています。TCP/IP系の手順については、IPv6をサポートしています。

- ・ TN
- ・ FNAonTCP/IP
- ・ TCP/IP(CU-DEVonTCP/IP)
- ・ NMCLAN

(3) 接続台数

別売のFNA Server クライアントライセンスを購入することで、最大999台(最大999LU)の端末が接続できます。

2. ホストコンピュータとの接続

(1) 富士通製ホストコンピュータへ、別売の通信制御サービスがサポートする回線・手順で接続することができます。ホストコンピュータへ、NETSTAGE/FIC、またはNETSTAGE/OXを中継して接続することもできます。また、複数のホストコンピュータと同時に通信することができます。

(2) 最初の端末の接続、最後の端末の切断を契機として、ホストコンピュータとの回線の接続/切断を自動的に行います。

3. 証跡ログ採取機能

TN接続およびFNAonTCP/IP接続端末に関して、端末を特定するIPアドレスなどの情報、ホストコンピュータ上のアプリケーションへの接続/切断状況およびホストコンピュータへの送信データなどの情報を、証跡ログとして記録することができます。FNA Serverで記録した証跡ログとホストコンピュータ上の記録を参照することにより、ホストコンピュータに対して、どの端末がどのような操作を行ったのかを調査することができます。

4. リモート端末のIPアドレスによるLU固定機能

WSMGR for WebのHTMLモード、およびHTMLトンネリング接続を利用時でも端末のIPアドレスによるLU固定運用が可能です。

利用可能な端末

- ・ WSMGR for Web V7.2L30以降
- ・ WSMGR for Web V8/9

5. モニターユーティリティ

モニターユーティリティを使用して、FNA Serverに接続している端末・デバイスの状態や、ホストとの通信パスの接続状況、LUの状態などの各種情報を参照・確認することができます。また、FNA Serverが動作しているコンピュータとは別のコンピュータから、FNA Serverの設定を行ったり(一部の設定項目を除く)、FNA Serverに接続している特定の端末(全手順)やデバイス(TN接続のみ)を強制的に切断することができます。

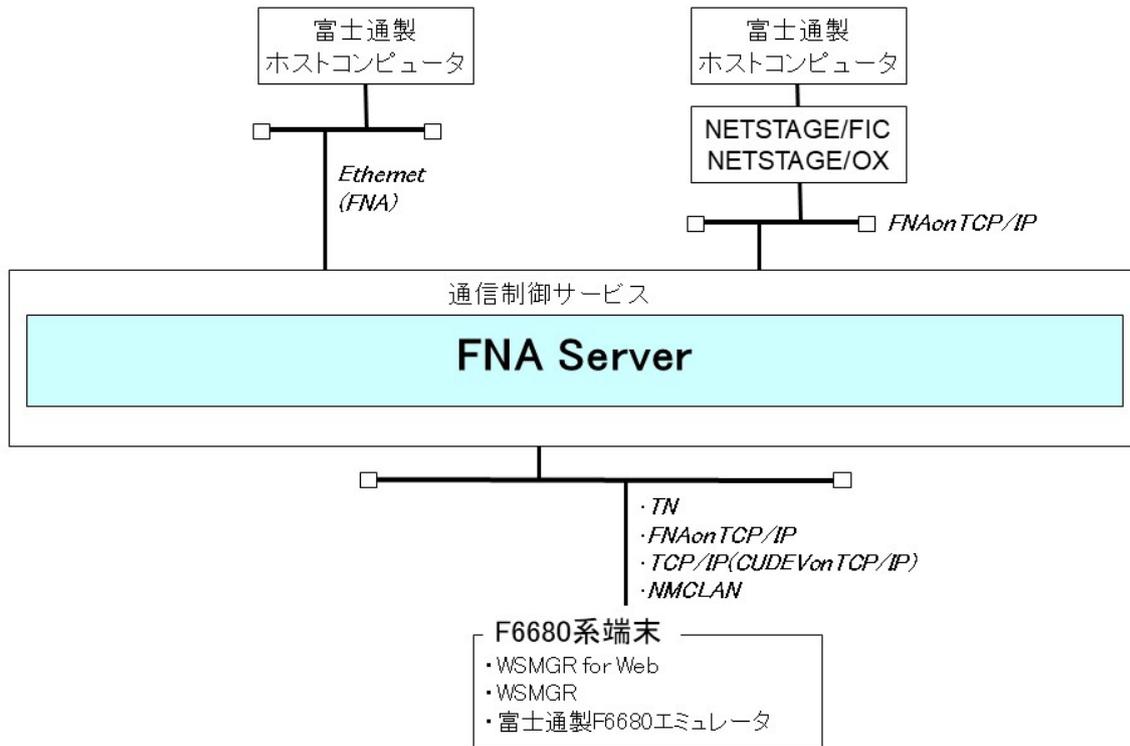
6. リソース配布機能

FNA Serverが動作しているコンピュータ上にあらかじめ用意したリソース(JEFユーザ定義文字フォント、オーバーレイパターンデータ)を、WSMGRからの要求に従って自動配布することができます。IPv4、IPv6どちらの環境でも配布することができます。

7. コマンドによるFNA Serverの設定

GUIによるFNA Serverの設定に加え、コマンドを使って次の操作を行うことができます。

- FNA Serverの定義情報の入出力
- FNA Serverの設定
- 証跡ログの設定



V9.3.0からV9.6.0の機能強化項目は以下のとおりです。

1. Windows Server 2025に対応

動作環境としてWindows Server 2025に対応しました。

標準添付品

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ FNA Server V9 使用手引書 (HTML、PDF)

【メディア】

- ・ FNA Server メディアパック(64bit) V9.6.0

【ライセンス】

- ・ FNA Server サーバライセンス(クライアントライセンス用)(月額) V9
- ・ FNA Server 1クライアントライセンス(月額) V9
- ・ FNA Server 20クライアントライセンス(月額) V9

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD-ROM等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. 月額ライセンスについて

従来の一括ライセンス商品から、月額ライセンス商品に変更になりました。初期導入コストを抑制し、使用期間に応じた購入が可能です。インストール用のメディアは付属しておりませんので、別途メディアパックを購入してください。

3. サーバライセンスの購入単位について

サーバライセンスは、FNA Serverをインストールするコンピュータ1台に対して、1本購入してください。複数台のコンピュータに適用する場合は、その台数に応じたライセンス数の購入が必要です。なお、FNA Serverをインストールしたコンピュータとは別のコンピュータに管理機能(モニターユーティリティ、セットアップユーティリティなど)だけをインストールする場合は、サーバライセンスを追加購入する必要はありません。

4. クライアントライセンスの購入方法

(1) FNA Serverに端末を接続させるには、FNA Server クライアントライセンス(以降、クライアントライセンスと記述)が必要です。FNA Server サーバライセンスには16クライアントライセンスが含まれています。

(2) クライアントライセンスはFNA Serverに適用される同時接続数ライセンスとなっており、FNA Serverへ同時に接続する端末側の通信パス数分必要です。このため、1台の端末に対して複数のクライアントライセンスが必要となる場合があります。FNA Serverにおける通信パスの定義については、留意事項を参照してください。

クライアントライセンス数に関する例を次に示します。

《例》 端末とクライアントライセンスの関係

- ・ 1台の端末で1つの通信パスを使用してFNA Serverへ接続する場合
1クライアントライセンスが必要です。
- ・ 1台の端末でTCP/IP接続とTN接続の2つの通信パスを作成し、同じFNA Serverへ同時に接続する場合
2クライアントライセンスが必要です。
- ・ 1台の端末でTCP/IP接続しか使用しないが、同じFNA Serverへ接続する2つの通信パスを作成し、同時に接続する場合
2クライアントライセンスが必要です。
- ・ 1台の端末でTCP/IP接続しか使用しないが、IPv4とIPv6の両方を使用して同じFNA Serverへ同時に接続する場合
2クライアントライセンスが必要です。

《例》 同時接続数ライセンスについて

- ・ 1台のFNA Serverに100の通信パスを同時に接続させる場合
100クライアントライセンスが必要です。
- ・ 1台のFNA Serverに100の通信パスを接続させるが、同時には50のみ接続させる場合
50クライアントライセンスが必要です。

- ・100の通信パスを2台のFNA Serverに同時に接続させる場合

それぞれのFNA Serverに100クライアントライセンスずつ必要です。

(3) 17以上の通信パスを同時にFNA Serverへ接続させる場合は、必要数分のクライアントライセンス製品を購入してください。

5. ダウングレード使用について

本商品のライセンスを購入することにより、本商品の旧バージョン/レベルを使用する権利を得ることができます（以降、「ダウングレード使用」と呼びます）。

「ダウングレード使用」を適用する際には、旧バージョン/レベル商品のインストール媒体をお客様が既に購入されていることが前提となります。

購入が必要なライセンス数については、本商品のライセンス購入方法に従ってカウントします。

「ダウングレード使用」を適用する際は、本商品のライセンス購入方法にしたがって月額ライセンスとして扱います。

なお、ダウングレード使用権を用いて、1つのライセンスで本バージョン商品と旧バージョン/レベル商品を同時に使用することはできません。

また、本商品の次バージョン/レベル以降を使用する権利はありません。

「ダウングレード使用」可能な商品は、以下のとおりです。

その他の旧バージョンはライセンス機構が異なる(フロッピーディスク形式の廃止)ため適用できません。

- ・FNA Server V7.1/7.2/8
- ・Server2000ホスト連携プレミアム V7.1 (同梱のFNA Serverを利用できます)
- ・ホスト連携プレミアム V7.2 (同梱のFNA Serverを利用できます)

6. 端末台数とLU数の関係

1台のFNA Serverが制御可能な最大LU数は999LUです。従って、1台のFNA Serverに同時に接続することができる最大端末数は、各端末の使用LU数によって変化します。

《例》

- ・各端末が1LUずつ使用する場合 最大999台まで接続可能
- ・各端末が2LUずつ使用する場合 最大499台まで接続可能
- ・各端末が5LUずつ使用する場合 最大199台まで接続可能

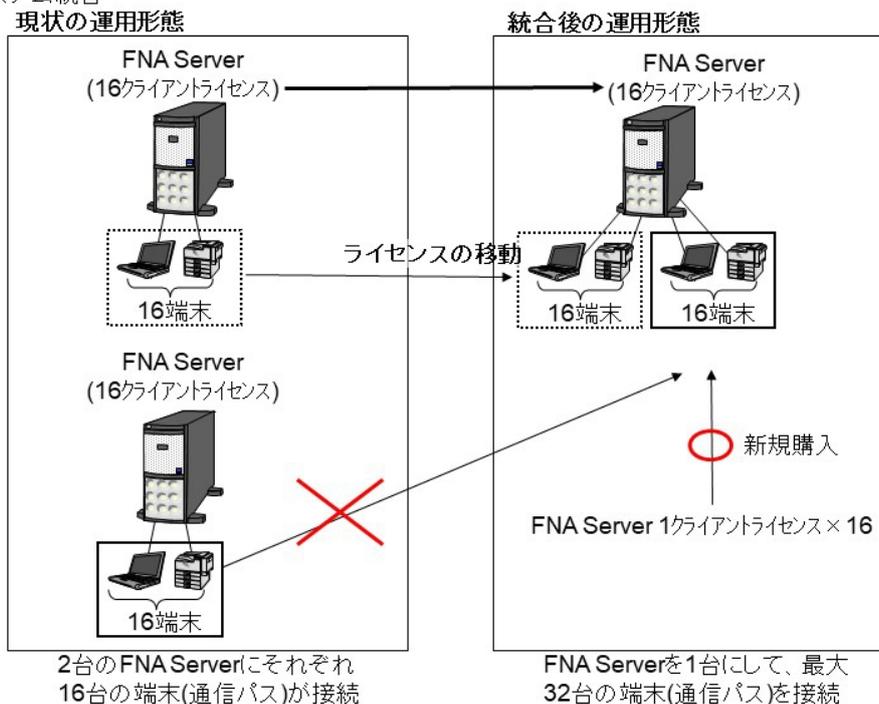
7. クライアントライセンスの適用について

クライアントライセンスの適用について、以下で説明します。

(1) 本体製品に含まれるクライアントライセンスについて

本体製品に含まれている16クライアントライセンスを、別のFNA Serverのクライアントライセンスとして使用することはできません。

《例》システム統合

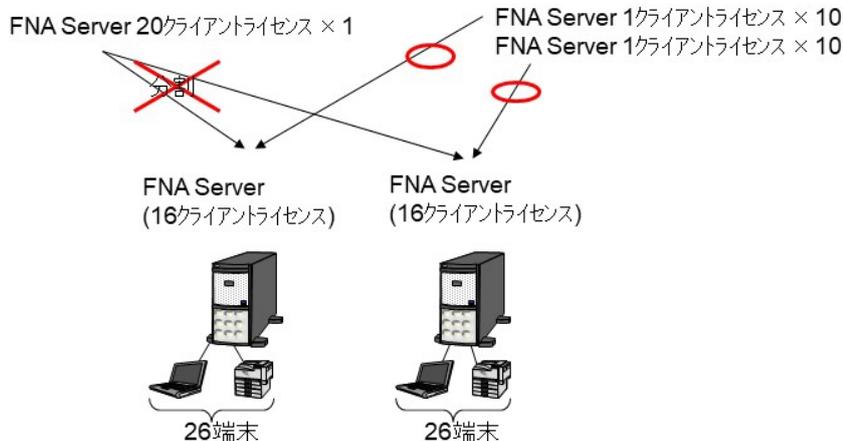


この場合、集約するFNA Serverに16端末(通信パス)分のクライアントライセンスを追加する必要があります。新たに16端末(通信パス)分のクライアントライセンス製品を購入してください。

(2) クライアントライセンス製品の適用について

- ・クライアントライセンス製品は、1台のFNA Serverにのみ適用することができます。(複数のFNA Serverに分割して適用することはできません。)
- ・クライアントライセンス製品を適用するFNA Serverを変更することは可能です。

《例1》2台のFNA Serverに対し、それぞれ10クライアントライセンスを追加する場合



それぞれのFNA Serverに対し、FNA Server 1クライアントライセンスを10製品ずつ、合計20製品を購入してください。(FNA Server 20クライアントライセンスを1つ購入し、これを分割して10ライセンスずつ、適用することはできません。)

《例2》クライアントライセンス製品を適用するFNA Serverを変更する場合



(3) 旧バージョンのクライアントライセンス製品について

FNA Server V9に旧バージョンのクライアントライセンス製品は使用できません。



8. V9.0.0以降からのレベルアップについて

V9.0.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新レベルを提供します。(お客様からのご要求が必要です。)

- ・ FNA Server V9.0.0/9.1.0/9.3.0

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新レベル商品を改めてご購入いただく必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

9. V6.1/7.1/7.2/8からのバージョンアップについて

以下の一括ライセンスをお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新版を提供します。(お客様からのご要求が必要です。)

バージョンアップ後もライセンス形態は一括ライセンスのままとなります。

- ・ FNA Server V6.1/7.1/7.2/8
- ・ Server2000ホスト連携プレミアム V7.1
- ・ ホスト連携プレミアム V7.2

「SupportDesk」を導入されていない場合は、最新版商品を改めてご購入いただく必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

関連ソフト

なし

なし

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows Server 2022
- Microsoft Windows Server 2025

次の環境下では本ソフトウェアを使用できません。

- ・ Windows Server OSでの Server Core、Nano Server
- ・ Hyper-V のホストOS

2. 通信パスの定義について

原則として、物理的な端末1台からの接続が1つの通信パスです。ただし、1台の端末からの接続であっても、FNA Serverから見て通信パスを識別する情報(*1)が異なる場合は、別の通信パスとみなします。

*1

NMCLAN接続：MACアドレス

TCP/IP接続：端末名、IPプロトコルのバージョン

FNAonTCP/IP接続：ホスト名、IPプロトコルのバージョン

TN接続：IPアドレス、IPプロトコルのバージョン

3. リソース配布機能について

(1) リソース配布機能を使用してリソースを配布できるWSMGRは次のとおりです。

- ・ WSMGR V7.1 L20以降
- ・ WSMGR V7.2/8/9

4. ローカルコピー機能について

(1) Kシリーズ端末エミュレータ および FNAonTCP/IP端末では、ローカルコピー機能を使用できません。

(2) TCP/IP(CU-DEVonTCP/IP)接続、NMCLAN接続のディスプレイ端末からTN接続のプリンタ端末へのローカルコピーは行えません。

5. 他社製端末エミュレータ接続について

FNA Serverへの他社製端末エミュレータの接続はサポート対象外です。

6. LUタイプ0の中継について

LUタイプ0は対応していません。

7. ユーティリティの接続先について

本製品に含まれるモニターユーティリティなどの各種ユーティリティおよびコマンドは、バージョンやレベルの異なるFNA Serverへの接続はサポート対象外です。

8. コンピュータのスリープについて

通信中にスリープ状態にした場合、通信状態は保証されません。また、スリープ状態からの復帰後の動作も保証されません。

9. FNAonTCP/IP端末のSLU番号について

FNA Serverに接続できるFNAonTCP/IP端末のSLU番号は、2~6です。

10. SANブート/自動リカバリについて

FNA Serverがサポートする以下の接続形態では、通信相手を特定するための情報として、コンピュータに搭載されているLAN(オンボードLAN、LANアダプタなど)のMACアドレスを使用します。

- ・ 端末との接続
- NMCLAN接続

SANブート/自動リカバリ環境での運用や、ハードウェア交換などでLANのMACアドレスが変更になった場合は、FNA Serverおよび通信相手側での設定変更が必要です。

11. VMware vSphere仮想環境について

- ・ VMware vSphere 6 関連機能での注意事項

HA、DRでフェールオーバー後、移行先のモニターユーティリティでログが初期化される場合があります。

初期化前のログは、イベントに出力されたファイル名に保存されています。

なお、ログが初期化されてもFNA Serverの動作に影響はありません。

- ・ VMware vSphere 6.5 関連機能での注意事項

HAでフェールオーバー後、移行先のモニターユーティリティでログが初期化される場合があります。

初期化前のログは、イベントに出力されたファイル名に保存されています。

なお、ログが初期化されてもFNA Serverの動作に影響はありません。

12. ASP(オフコン)への接続について

(1) FNA Serverを経由して、ASPとWSMGR、WSMGR for Web、およびKシリーズ端末エミュレータの全バージョンで、TN接続する環境では、ASPの設定を以下のようにしてください。

- ・ ASPのACTWSコマンドのATTパラメタは@YES (デフォルト) に設定してください

(2) XSP/MSPのHS0を経由した接続はサポート対象外です。

13. リモート端末を識別する(TN接続)

WSMGR for WebのHTMLモード、またはActiveXモード(HTTPトンネリング接続時)でFNA Serverに接続し、端末のIPアドレスを利用する場合は、FNA Serverの以下の項目を設定してください。

(1) TN接続のプロパティ (リモート端末情報設定ページ)

"リモート端末の IP アドレスを識別する"項目のチェックボックスをオンに設定します。

(2) IPアドレス/ホスト名

リモート端末のIPアドレス/ホスト名を指定します。

14. 前版との違いについて

[V9.3.0との比較]

下記OSでの動作はサポート対象外となりました。

- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 2012 R2

[V9.1.0との比較]

特にありません。

[V9.0.0との比較]

下記OSでの動作はサポート対象外となりました。

- ・ Windows Server 2008 R2

[V8.0.0との比較]

- ・従来の一括ライセンス商品から、月額ライセンス商品に変更になりました。

お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通(FNA Server)**

本商品の製品情報、サポート期間を掲載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/fnasv/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>